

イッサレポート

こんにちは、イッサです。

このレポートでは

【脱サラ起業が就職活動以上に
楽すぎた】をテーマにして

どうして大企業の入社を目指し
必死の思いで入った会社を辞めて
ネットビジネスをはじめたのか？

書きたいと思います。

では、ここから始まりです。

目次

1. イッサの幼少期。
そして大企業信者になった
2. 念願の大学進学・・・
貧乏脱出のため大企業へ
3. 大企業に就職したい・・・
地獄のような就職活動
4. 念願の大企業だったが・・・。
5. 幼馴染が会社をやめた話
6. 起業家との出会い・・・
起業が楽だと知った
7. このバグだらけの
クソゲーみたいな世界に
終止符を
8. 経営者は始まりにすぎない

1. イッサの幼少期・・・そして大企業信者になった

元々、うちは貧乏な家庭でした。

父は地域にある中小企業の建設会社に勤めていて、決して給料が良い職業ではありません。

築40年超の社宅は水洗トイレではなく汲み取り式でした。

欲しいゲームやおもちゃがあっても買ってもらえる家庭ではありません。

父はいつも僕に

「とにかく勉強していい

大学に入って、卒業すれば
大企業に就職できれば
幸せになれる。

大企業は中小企業より
待遇はいいし、理不尽が少ない」

そう教えてくれました。

同僚の一級建築士の人
と二級建築士の人の話を
例に出して

「同じ会社でも勉強が出来ない
二級建築士は出世も出来ないし
給料が低い。

一級建築士は違う。だから
大学でしっかり勉強して
お金を稼ぐんだ」

当時としては極めて一般論
だったので僕は一生懸命勉強して
なんとか父よりレベルが高い大学
に行くことになりました。

2.念願の大学進学。

大企業を本気で狙うようになった・・・

父よりレベルが高い大学
は有名大学でした。

貧乏家庭でしたが
将来のためにはと思い
私立大学の理系学部
に進学しました。

とにかく学費が高く
年間180万くらいです。

貧乏だったので
その学費を払うことは
できなかったから

奨学金を借りれるだけ
借りて、自分で
深夜アルバイトをして
学費を何とかしました。

なので
大学時代はとにかく
お金がなかった。

深夜のバイトは
スーパーでほとんどのお客
はカップル。

毎回、寝巻姿で
コンドームを
買いに来るので

このバカップルどもが。
エロエロ盛んになりやがって
○ね。リア充どもが。

と思いながらも
コンドームの厚さと
大きさがどれくらい
売っているかを
毎日把握していました。

僕自身、童貞でしたが。

そんなコンドーム紹介業
を毎日やりながら
カップルを羨ましそうに
見ていました。

お金のない僕は
彼女を作ってる余裕も
時間もお金もありません。

そんな貧乏人の僕の
食事はいつも
わかる人にはわかると
思いますが

一食9円のうどん
と業務スーパーの
ヘビーユーザーでした（笑）

時にはお腹が減っても、
寝て我慢して、20キロ体重
を減らした時期もあります。

しかも、僕が通っていた
大学は私立大学です。

そうです、大学の友人は
裕福なご家庭の
おぼっちゃまが多かった...

なので、親に学費を
払ってもらっている人
ばかり。

そんな大学の友人たち
に対して僕は圧倒的な
劣等感がありました。

大学の友人の中には
悪びれもなく

「なんで自分で学費を
払っているの？」

と聞いてくる奴もいて
腹が立ったのを

今でも覚えています。

親が社長だ
とか言うやつも多くて

40万円のPC買って
もらったー！ とか

親から一眼レフ
買ってもらった とか
言ってる奴もいました。

親の金で
自慢してんじゃねえ
と、勝手にキレてました。

なんで世の中、
こんな不平等なんだよ！！！！

僕なんかなんの
具材もなしの
ただの素うどんや
パスタに醤油かけて

「あーもう、主食だけ
生活飽きたわ...」

なんてブツブツ言いながら
毎日生活してるのに。

他にも、金が無さすぎた
せいで悔しい思いを
たくさんしてきました。

飲み会に誘われても
金なくていけなかったり

友人に海外旅行に誘われても
当然僕には行けません。

南国で日焼けしてきた
友人たちの思い出話や
記念写真を

歯を食いしばりながら
見せてもらうことしか
出来なかったのです。

「楽しそうだね！！」

と表向きでは
ニッコリ顔をしましたが

心は完全にダークサイドに
墜ちてました。

金持ちな家庭に生まれた
だけのラッキーマンが。
親の金でいばってんなよ。

おめーは何にも実力ない
くせに。

うざいうざいうざい。
くそくそくそくそくそ
くそくそおおおおお！！！！

って感じですよ、心の中は。

いま思えば、
ただの自己満足。

超ダサい。

そんな苦渋ばかり

なめさせられた僕は

お金ないと
なんにもできない。

貧乏な人生なんてダメだ。
という結論に至ったのです。

この山ほどある苦い
貧乏経験が

金がない僕は、将来
絶対たくさん稼いでやる
と決意させました。

で、世間知らずだった僕は
たくさん金を稼ぐなら
大企業に就職だ！

と考え、大学院にまで
進学しました。

2008年度の就職状況は、10年ぶりの
大量採用の時代でした

学校の教授や世間まで

「時代は、大学院まで
進むことを求めている！」

とまで言っており、2年後まで
続くだろうと思われていました。
もちろん大学院の学費も
自分でなんとかかしてました。

「真面目に勉強すれば
絶対報われるんだ！」

大学院進学して
エリートの道へ！！」

だから、僕も
そのようになるもの
だと思っていました。

そんな僕が大学に入って
4年の間に亡くなった人
もいました。

運転手のスピード出しすぎが
原因で、建物にぶつかったのです。
まさに不慮の事故でした。

そうです。
尼崎で起きた脱線事故です。



こんな不慮な事故で
どうしようもないものでも

僕はこんな事故には
合わないぞー
と他人事でした。

世の中、自分が関係なければ
みんな人ごとです。

僕も、その一人でした。

しかし、僕にはもっと
天災級のものが
待ち受けていたのです。

3.地獄のような就職活動

「修士まで頑張ってきたんだ。
絶対、大企業に就職したい・・・」
2年もの間、真面目に実験に明け暮れ
ずっと数式の計算をしていました。

ところが、2011年度は30年に
一度の【過去最悪の新就職氷河期】

リーマンブラザーズが倒産したことで
2009年度より急速に悪化。

シャープやサンヨーが経営危機
パナソニックは7,000億円の
負債を出して、倒産の危機
といった危機的状態でした。

新卒採用以前に倒産の危機
に瀕していた企業
が多かったのです。

前年度までなら
内定が決まる4月1日に
内定先がありませんでした。

そんな状況を
家族に説明して、留年を
しようとしたが
理解してもらえず
「今年中に就職しろ」
と言われたので

全く興味がなかった
会社に就職せざるを得ませんでした。

僕はかろうじて就職できましたが最終的に
2人に1人が【就職】できませんでした。

留年なんか絶対に許さない
と就職状況を理解してもらえない
家族に怒られ

大学院卒でも10人に1人は
就職できませんでした。

また、奨学金払えずに自殺する
人まで出るようになり

【就活自殺】 【デットオアニート】
なんてひどい言葉が生まれ

就活が原因で自殺した学生は
4年前の2.2倍になり、過去最悪を
記録した恐ろしい年でした。

2019年現在でも
2011年卒の就職活動
は過去最悪なのでは
と言われていています。

そんな年の7月までに
何とか内定をもらえた僕は
まだましなほうでした。

そして、修士論文の提出
も間に合い、卒業が
3月2日に無事決まりました。

そして、内定先の準備を
しようとしていた
2011年3月11日・・・

最悪なことが起きてしまったのです。

東日本を震源とする
「東日本大震災」が起きたのです。

高層ビルを丸ごと飲み込む
80m級の津波が、海沿いの街を襲い
更地にしていきました。



原子力発電所は爆発し



過去一度も脱線したことがない新幹線が脱線



今まで誰も予想もしたことがない
津波が街を飲み込むんでいく映像が
1週間以上流され続けました。



そんな1000年に一度の大地震で

地震で家族も何もかも
失った状態にもかかわらず

あと10日後に、内定先に
来てと言われた学生。

3月31日に内定が取り消され
新卒採用を今後受けられなくなった学生。

就職できない以前に
地震や津波で亡くなった学生。

もいました。

この地震による内定取り消しもあり
内定率*が過去30年で最悪でした。

これが2011年度の就職状況が
過去最悪だったと言われる
理由の1つでした。

*内定率・・・就職希望者数のうち、就職が決まった人の割合。就職を希望しない者、諦めた者は母集団に入っていない。

4. 念願の大企業だったが . . .

1000年に一度と言われ、
前代未聞の大地震の
被害にあっている中

僕は運よく4月1日の入社式を
迎えることができました。

「入社式がそんなに
大事なことなのだろうか。」
と疑問に思いつつも

「就職を何よりも優先させたい」
「就職できないのはイヤ」
という気持ちでいっぱいでした。

福島原発の避難区域ギリギリ
の所にいた友人は
入社式開始5時間前に
来ることができました。

入社式が終わった土日に
「今から車で福島かえって

荷物取ってくる」
といい、入社後の土日の間
福島をずっと往復していました。
2か月間はそんな日が続いていました。

この頃になると、世間では
震災の関係で【絆】という言葉
が流行りだしていました。

何が絆だ。気持ち悪い。
これが第一印象でした。

絆が存在するのなら
まず就職で苦しんでいる
就活生に

こんなクソみたいな
入社式をまず中止にしろよ。

内定取り消しにあった
学生採用してやれよ。

お祈りメールなんか

送るなよ。

就活生のことは無視して
何が絆だよ。

誰も就活生の状況なんて
考えてもいなかったじゃねーか。

．．．．気持ち悪い。
マスコミの宣伝に乗るのも
いい加減にしろ

僕は、就職活動を通じて
世間の冷酷さと理不尽さを
味わい尽くしていました。

「誰も助けてくれないから
頑張って大企業に入ったぞ！
さあ、後は働いてお金を
稼ぎまくるぞ」

そう強く決心したのでした。

いよいよ念願の大企業に
就職できました。

「20年に1度の大不況や地震を経験して
入社したんだから、苦勞に報われるだけの
輝かしい未来が待っているはず。

大企業だから、中小企業より
はるかに働きやすいし
待遇もいいだろう」

そう思っていました。
今思うと、超甘かった。

まず、違和感を感じた
のは通勤時間。

製造業の工場なので
クルマを買わないと通勤できない場所にあります。

片道20キロなんてザラです。

高速道路通勤なんてのも
ありました。

1日100キロ片道1時間半かけて
通勤しないといけないような所です。

しかも、勤務時間ではないため
給料にカウントされません。

そんなところまでいって
何をするかというと
PCで図面を書くだけ。

PCがあればどこの拠点でも
できる作業だったのです。

「通勤3時間もして、やること
じゃねーだろ」とムダが多く
理解できませんでした。

さらに、衝撃的な事実を
次々と知ることになりました。

ある日の飲み会で
50代の課長が「割り勘にしてくれ」
と言ったのです。

うちの課長の平均年収は
800万円を軽く越しています。

5月頭で給料が入っていないのに
新人と同じ金額にしてくれ
とか意味不明です。

震災で被害にあってお金に
困っている新人もいる中
割り勘を提案してくる課長

他の同僚や係長も流石に不思議に
思っていると、課長が

「ローンが15年残ってるし
今月飲み会多くって
きついんだよね・・・

僕、小遣い制だから、月1万円しか
もらっていない」と

小遣いが月1万円だと
いうのです。

いやいやいやいや
何言ってるのこの人。

課長でしょ？
30年働いて、残ったエリートでしょ？

そんな人が月1万円！？

しかも震災に被災していて
初任給も入っていない
新人にお金払わせようと
しているんだよ？

初任給ない新人にお金払わせる
飲み会って、マジ最低じゃない
っすか？

そんなの僕が思っていた
お金持ちの大企業の社員
がすることじゃない。

被災した人間を強制参加させて
お小遣い少ないから新人と
同じ割り勘でって。

くずじゃないですか。

あまりにひどかったので
他の係長が同情して
おごってくれましたが

課長の非情さと小遣いの
少なさに呆れ

「月1万円のお小遣いじゃ
勉強のための自己投資すら
できないじゃないか・・・」

と思いました。

「でも流石に、この課長だけでしょ？」
と不思議に思い、二次会で周り
にいる50～60代の先輩に聞いてみましたが

「通勤距離が長すぎて
3年で乗り換えたんだけど」

「家のローンの完済終わるのに
あと15年かかるし」

「結婚したの、40歳なんだよね。

仕事忙しすぎて、婚活できなくて」

と大企業の社員⇨お金持ちという理想からずいぶんかけ離れた現実を益々知ることになりました。

年収800万の50代課長でも

家と車のローン支払いで月1万円のお小遣い制

通勤距離長すぎて新車を3年で廃車・・・

5月の震災で実家を亡くした新人に飲み会強制参加させ初任給ももらっていない新人に割り勘を要求・・・

こんなの・・・

僕が思っていた大企業のリッチマンと全然違う

中小企業のそこらへんの課長のほうがまだ裕福だよ。

そんな悲しい事実を知って
とてもショックでした

さらに、仕事はつまらない
ものばかり。

台風の日に
書類を運ぶために
往復4時間移動したり

毎日つまらない会議と
打ち合わせに参加したり

上司の気分で、決めごと
が毎日変わって、修正したり

土日に実施する運動会
に参加させられ

金曜日の夜には
飲み会の幹事をやらされました

先輩や上司を見てもまったく
幸せそうじゃなかった。

「この部署だけかもしれない。
異動しよう」

しかし、異動して2年。
他部署も同じような感じでした。

そうこうしているうちに、気付けば
6年会社員をやっていました。

5.幼馴染が会社をやめ、個人事業主に。

入社して7年目。

「退職のお知らせ」
が同期からよく来るようになった。

よくあることだったので
「へー、あいつやめるんだ」
「また同期が減るな」
程度しかなかった。

ただ、今回辞めたのは
中学が同じの幼馴染
で同期の奴だった

大企業で同じ中学
院卒入社の同期は
彼だけだった。

しかもエース級の
ずば抜けて超優秀な奴。

自分の好きな仕事もでき
やりたいことをやって
社外に論文発表もしていた。

「やりたいこと言えばできる
環境なのに何で辞めたんだ・・・」

辞める理由が、マジでひとつも
思いつかなかった
なので喫茶店で会う約束をして
話を聞くことにした。

「いや、祖母が年を取ってね
介護が必要になったんだよ」

スタバでコーヒーを飲みつつ
話を聞くと
今はドイツの会社相手に
個人事業主として仕事を
しているそうだ。

「ネットを使えば
海外にいかずとも
仕事ができるのさ」
らしい。

ネットってそんなこと
できるのか。すげー便利だ。

海外の会社に
「海外から仕事をもらってくるなんて。
でも、どうして仕事もらえたの？」

話を聞くと
論文を書きためて
オファーされたいらしい。

さすがエース級だ。

誰かから声がかかっても
おかしくない。

それに比べ、僕のような

燃費不正問題の対策として
2年間工場に飛ばされるような
意味不明な人事異動を
繰り返された挙句

評価されなくなった
人間とは違うのだ。

だから、僕は
この会社でずっと
平社員として働かない
といけないのだろう。

「自分に経営者や個人
事業主なんてムリだ・・・」
彼との違いを再認識させられ
コーヒーを飲む気が失せてしまった。

6.起業家との出会い

僕の会社員生活は
もっとひどいことになっていた。

**その後、異動先から戻り
上司のパワハラに
3か月間あい続け
メンタルを病んでしまった。**

**書いているとイライラして
思い出したくないので
ここは省略させてほしい。**

**とにかくそのせいで、
1年は単純でつまらない仕事
の連続だった。**

1年間病気のために単純な仕事
をしながら

気付けば、8年目に突入していた。

僕はやる気を全て失っていて
金を稼ぐために仕方なく仕事を
している状態だった。

このままスキルアップできない
仕事を残り30年以上やらされる
ことが何より苦痛だった。

しかも、上司が変わるたびに
パワハラを受けるのではないかと
怯えていた。

会社の人間、特に課長は
信用できなかった。

暴飲暴食で体重は1年で
10キロ増え、尿酸値は増える一方

パワハラ上司を思い出すたび
家にある枕をぶん殴って
うっぷんを晴らす・・・生活をしていました。

「80キロあるエンジンを
1人で運搬させることは
パワハラではありません」

コンプライアンス委員会への通報
（笑）もパワハラ受けたことを
認めようとしませんでした。

従業員をゴミのように考えている
クソ会社だと思った。

こんな会社で仕事したくない。

「転職で脱出だ」

そこで、僕は転職活動をはじめた。
まず、知ったのは業界の狭さだった。

完成車メーカーは、転職しても
仕事内容がほとんど変わらないし
転職先も求めていなかった。
慢性的に人が不足している状態だった。

ただ、今よりも高い給料のところ
が中々なかった。
面接を受けてもミスマッチばかり。

「転職エージェントに都内勤務

と聞いていたのですが・・・」

そもそも勤務地が合わない。
何故なのか？

「確かに都内勤務は
最初の3か月で
残り30年は**県勤務です。」

は？
嘘なんじゃないか？

都内勤務って書いておいて
実際の勤務は、**県勤務
って意味不明だろ。

新幹線が1時間に1本しか
止まらない田舎だぞ

貴重な時間を割いて来てるんだ。
「嘘じゃないんですか？」
とストレートに聞いた。

「採用時なので問題ありません」

就労条件に平気であそまがいを書く

東証一部上場企業の人事担当
に失望し、辞退を出した。

8年前の就職活動の
悪夢が思い出された。
事前に伝えればいい事を
平気で嘘をつく・・・。

「どの企業も平気で嘘をつく」
「転職しても、今よりいいとは限らない」

失望した。結局、8年たっても
どの会社も嘘つき体質は
変わっていなかった。

確かに、転職すれば環境は変わる
だろう。

だけど、その会社が良いか
見極めないといけないし
転職先ばかりがいいとは
限らない。

事前にもらう情報は
怪しいものも多い。

時間もお金も取られて
かなりリスクが高い。

しかも、この時の会社は不正の嵐だった。

- ・ 不正に販売し続けた
- ・ 国から補助金をだまし取っていた
- ・ 開発期間を短くして、何度も回収した

どこも同じような問題だったし
その会社の人事担当者と話すだけで

「この会社も不正やっているな」

と雰囲気を感じてしまった。

転職活動してみても
わかったことは

収入が減り、仕事がきつくなる
可能性が高かったことだ。
しかも、勤務先は田舎・
デメリットだらけだった。

現状の部署ではパワハラは
なかったのに結局
転職活動はあきらめた。

まず、つまらない日常から
何とかして抜け出したい。

転職以外で変わりたい・・・
変わらなきゃ
このままだと
毎日がルーチンワークの
つまらない仕事を
30年間も続けることになる。

変わりたいけど
毎日焦りつつも
何をしたいかわからず

パワハラ上司のせいで
患った適応障害と鬱症状
で腐りきっていた。

そんなとき
「転職以外の他の手はないか？」
と思うようになった。

ネットでひたすら調べていた僕にとあるブログが目に入る。

「トヨタをやめて起業した男の話」

その人は「トヨタ」を辞めて起業したというのです。

「起業？」

ものすごくハードルがすごい高そうだ。
しかも、トヨタと言ったら
会社の安定度は日本No.1
と言っていい位の待遇。

他の自動車会社と比べても
安定度は、格段にいい！

でも、どうやって起業したのだろう？

とっても優秀な人だったのかな？

自動車会社にツテを作って
辞めた幼馴染の顔が浮かんだ。

その人も幼馴染と同じ開発出身
だったが、仕事についで
独立した人ではなかった。

しかも、びっくりするほど
自分との共通点が多かった。

- ・うつ病寸前にまで追い込まれた。
- ・大学院をロンダリングまでした。
- ・このままじゃダメだと
一念発起で会社やめた

さらに、この業界あるあるの

- ・つまらなすぎる会社行事
の強制参加
- ・年収多いのにローンまみれの上司
- ・鬱で辞める人多数
- ・ローンのために仕方なく働く

内容が満載で、親近感を覚えた。

そんな元トヨタの人は
今は何をしているのだろうか？

ブログにはこんなことが
書いてあった

世界中を旅しながら稼ぐ！！
月収100万円は余裕！！
ランボルギーニ買えそう！！！！

これを見たとき
「いやいやいや怪しすぎる
明らかにうさんくさい。」
と突っ込みどころ満載。

「本当に生きているのか？」
「国税庁に狙われて
海外逃亡しているだけでは？」
「もうちょっと詳しく知りたい」

と思い、捨てアドで
メルマガに登録してみた。

まず、わかったのは、当然だが
本人はちゃんと生きていること

そして・・・

極端な嘘はついていなかったこと
だった。

その後は、同じような境遇を持つ人として純粹に興味があったので毎日チェックするようになっていった。

知らない間に、僕はその男になおさら興味をもった。

そして運よく、その男と直接チャットをするチャンスが舞い込んできた。

顔写真はあったが、本人か怪しかったので

怪しい、危ないランボルギーニ乗り回して、車の窓ガラス素手で割っている覆面youtuberのラファエルみたいな人と勝手に思っていた。

話してみれば少しは素性がわかるかもそう思っていた。

チャット当日・・・
ついに起業家と話すときが来た。

起業家は超親切だった。

「やろうと思えば
誰にだってできる。

ネットビジネスなんて怪しい
と思うかもしれないけど
俺はビジネスを通じて

めちゃくちゃお客さんに感謝されるし。
自分も稼げるし、Win-Win なんだよね。
しかもノーリスクで始められるから
正直、やったもん勝ちのゲームだよ。」

ざっくりまとめると
こんな感じで教えてくれた。

確かにネットビジネスは
うさん臭いものだった。

秒速で億稼ぐ男は
ドバイへ行き
仮想通貨をはじめ

ツイッターBOTを作った男は

仮想通貨コミュニティをはじめ

高知系ブロガーも
仮想通貨をはじめ・・・
といった状況だったので

ネットビジネスは
稼げないので仮想通貨
にシフトしているのでは？

とか思っていた。
だけど、この起業家は
素直にビジネスを
やっていたし

幼馴染もネットを使って
ドイツの会社で
仕事をしていた。

さらに言うとFXや仮想通貨
プログラミングスクールに
勧誘するような甘い言葉
をかける人ではなく

「いやー正しい方法で
頑張らないとすぐはムリっすよ」

とすぐに独立を推奨する
人とも違った。

そして、何より・・・
【超楽しそう】だった。

僕はつまらない人生
を充実させるには
仕事を変えるか辞めるか
しかないと考えていた。

だけど、どうすればいいか
わからなかった。

だから、資産を増やして
リタイアを早めればいいと
考えていた。

そこで起業家は
アドバイスしてくれた。

「転職もいいかもしれないけど
お金持ちを目指すのなら

まずは社長としてビジネスを
やって、ビジネスオーナー
になって、資産家になるのが
オススメですよ。」

確かに、僕はいきなり
ハードルをあげて資産家
を目指していた。

だからいつまでも
サラリーマンのまま
だったのだ。

他に良い方法が思いつか
なかったので
「このまま会社員続けても
メンタル持たなそうだしな。
よし、ビジネスやってみるか！」

と僕のネットビジネス生活
は始まった。

精神も荒みきっていたので
お金を稼ぐことしか救いがない
と思い

【200万円】を起業家に
ローンと払うと約束した。

借金800万の状態だったが
マジでどうでもよかった。

今、考えるともう少し
冷静に考えたほうが良かったかも
しれないが、とりあえず
会社員から離れたかった。

その一心だった。

7.このバグだらけのクソゲーみたいな世の中に終止符を。

ネットビジネスをはじめてからある日のこと

社内メールに貼ってあった昇進のお知らせのリンクを見るとなんとパワハラ係長がなんと課長になっていた。

自分の会社が不正を犯し続ける仕組みが実証されてしまった。

パワハラ違法行為をしても成果を出す人間を課長、部長にし、問題があったら全てを部下のせいにする

これが会社の不正が蔓延している一因だったのだ。

若手エリートは、独立して去っていき

パワハラばかりする上司は
出世

どこにも行き場のない
社員だけ残り

不正を訴える手段すらない
訴えても
「そんな事実はありません」
と上司側の擁護しかしない・・・

自分の都合のいいこと
ばかり言う人間が出世し

閉塞感に現実を知って
僕は会社の仕事が
苦痛にかんじました

こんな倫理観の欠けた人間を
上司にする会社に居ても
時間の無駄だ・・・。

犯罪者を擁護する会社は
無法地帯で

僕は犯罪者を擁護していて
いつ殺されてもおかしくない
恐怖すら覚えるように
なった。

昔だったら諦めて
仕事をしてましたが

起業家から教わって
いたので仕事が終わった後の
数時間の作業や

工場実習の後でも
異動後の忙しい時でも
1カ月半で成果を出すこと
が出来た。

僕は乙種危険物取扱者
という資格を4種類
持っているが、3ヶ月
かかって、1000円も
増えなかった。

資格取得よりも時間
がかからず稼げる。

おまけに
会社員仕事よりも
遥かに楽しい。

楽しいけど
起業家からは

「イッサさんは
押しが足りない」

「もっと色々
聞いてきてほしい」

「忘れてますよ」

と言わせてしまった
ことが何度もあった。

リアルで情けない
限りだったが訳があった。

僕は、従来の超我慢強い
性格とパワハラによる鬱
やトラウマで

精神薬による副作用
物忘れが異常な位

激しかった。

そんな体調でも
成果が出るネットビジネス
の素晴らしさに驚いていた。

たまたま薬飲みながら
できる仕事だったが
出来ない人も当然いる

マウスとキーボードさえ
打てればできるのだ。

僕の人生は
つらい現実を受け入れ
一生懸命耐えてきただけ
だった。

「適応障害や鬱になったのは
我慢しすぎていたから」

と悟った。

「無理に会社員生活を
続けることができない」

年齢はすでに30代。

筋肉の衰えも感じるし
涙もろくもなってしまった。

精力剤や育毛剤の宣伝も
真剣に見るようになり

薬局でどれがいいか
探したりした。

栄養ドリンクは何が
ベストなのか
常に研究したし

化粧品で肌ケアも
真剣に考える年にな
ってしまった。

会社員もいいかも
しれないが

どうしても
パフォーマンスが落ちる。

その点
ネットビジネスは
年齢や体力や体調に
関係なくできる。

しかも早い人だったら
既に大学のうちに
成功している人も多い。

ネットビジネス起業の
ハードルの低さに
感動すら覚えた。

どうしてさっさと
ネットビジネスを
やらなかったのだろう。

不労所得にこだわって
株や不動産、fx、仮想通貨
に手を出していたこと
をすげー後悔した。

「ネットビジネスやって
いけば鬱や適応障害にも
ならず、もっと健康的に
過ごせたのに」

自分の生き方を変える
最後のチャンス

それがネットビジネス。

その後

会社終わった後にPC開いて

起業家から教えてもらい
インスタやTwitterやって
遊びで使っていた時間が
お金になった。

超快感だった。

ネットビジネスは
過去のツテとか
プログラミングとか

特殊な知識が必要だと
思っていたが

実は全く違った。

誰でもやり方さえわかれば
できるものだったのだ。

多くの人が正しいやり方
を知らず去っていく
ビジネスだったのだ。

なので起業家の言うように
会社が終わった後の作業
時間だけで起業できる。

スタバでもできたし
スマホでも更新できた。

その起業家は海外旅行
しながらやったらしいので
間違いないだろう。

場所も時間も選ばないので
出張先のホテルや
新幹線の中でもできた。

昼は会社で仕事をしつつ

夜は起業の準備・・

経営者としての第一歩
は超低リスクではじめること
ができた

8.経営者は始まりにすぎない

僕が、今いられるのも
全てネットビジネス
のおかげだ。

起業家との出会いで
僕は経営者として
第一歩を踏めた。

それから8か月が
経とうとしている。

会社員生活8年
よりも大きく変わった。

そこら辺の八百屋の
おっちゃんや米屋の
お兄さんのほうが

ベテランだと思う。

「お前なんて大したこと
ない」

そんなこと分かっている
けど、起業でいきなり
米屋や八百屋はきつい。

土地や建物を買わないと
いけないからだ。

その点ネットビジネス
はリーマンやりながら
出来た。

パソコン一台でできる
土地も建物もツテも
いらない。

過去の会社員の経験も
いらない。

稼ごうと思い

色々やっているうちに
色んな所から
声がかかるようになった。

youtubeの投稿も
最初はぼそぼそ声
だったが

だんだんでるよう
になってきた。

感謝のメールが
来るようになった。

ワードプレス教えてほしい
ライティング教えてほしい
広告教えてほしい

自分で分かる範囲で
対応していった。
そして、今にいたった。

正直、ネットビジネスは
やることは多いけど
ハードルが低くて楽しい。

仕事は楽しいし
コントロールもできる

好きな時にやりたいことを
PC1つでできるし
自動化することもできる。

やるとしたら
画面で設定を少しいじる位。

無料のメルマガも
感想が届くようになり
時たまレスもしている。
最優先でやっている。

200万円を払って
僕が手に入れたのは

・ **パワハラ上司に束縛され**

18時間働かされることがない
【精神的自由】

・ 1日中単純作業をさせられ
キャリアアップできない
会社から解放される
【環境選択の自由】

・ 自分のペースで
自由に仕事ができる
【時間の自由】

・ 自分のやりたいことを
いつでもできる【行動の自由】

だった。そして

お金のために仕事を
しなくて済む【金銭的自由】

家に帰って
上司の愚痴をいったり

給料が上がらないと
お金の苦しんだり

何をやっても楽しくない
メンタル病みっぱなしで
ゲーゲー吐いている

そんな情けない僕とは
おさらばできたのだ。

僕は、死ぬまでずっと
サラリーマンとして
生き続けることが
不安でしかなかった。

30年後を予測できる時代
なんて終わった。

ローンもカンタンには
怖くて組めないし

あの大地震で
価値観が大きく変わり
変わらないものなんてない
ことを知った。

パワハラにあっても
「体力がない」とか
被害者のせいにされる

も、経験してきた。

でも、ネットビジネスは
違う。PC1台で仕事が
できて、おまけに

- ・【精神の自由】
- ・【環境の自由】
- ・【時間の自由】
- ・【行動の自由】

が自分で選択できる。

デブでもチビでも
童貞でも既婚者でも
病人でも
誰でも受け入れてくれる。

少なくともチビデブで
素人童貞で

適応障害のうつ症状
が出ていた僕でも

ネットビジネスは
受け入れてくれた

だから誰でも受け入れて
くれると思う。

ネットの世界は広大だ！

今振り返っても
その判断は間違えていなかったと思う。

(レポート おわり)

かなり長くなりましたが

最初にも言ったようにこのレポートは
僕がぶつくさ言っているだけです。

皆さんは会社員のほうが楽しいよ
っていう人もいますし

ネットビジネスとかうさんくせー
という人もいます。

「いやいやいや
2011年はもっと楽しかったよ」
という人もいます。

「平成は、自然災害なんかもないし
鬱や病気で苦しんだことなんてないよ」
という人も当然いると思います。

皆さんの自由です。

「恋人と結婚したし、出会えたから幸せ」
という人もいます。

ここで皆さんに伝えたいこと
があります。

ネットビジネスは作家と似ています。
作家は誰でもできます。

だけど、誰もやろうとはしません。

何故でしょうか？

文字が書けないし、読めないのなら
このブログを読めないと思います。

「僕は作家になるのが夢だった」
という人もいます。

僕はメンタル病んでから
まじで悲惨でした。

会社に行くときに、腰のベルト
とズボン本体をつけ忘れる位
物忘れも酷くなり
疲れ切っていたので。

そんな自分でも出来ました。ただ
やりたいことって忘れちゃうんです。

僕は異世界転生系の作家の
作品とかよく読んだりするのですが

あんな長編小説作れる自信もないし

本として出版する気合や根性もありません。

異世界転生したときに0歳でおじいちゃんになって3人奥さん作って死んだ話で

ラノベ100冊分じゃね？
そんなレベル当たり前のようにあります。

読むのもハードで1週間かけて読みましたが書いている方マジで尊敬しました。

それと比べてネットビジネスはカンタンで楽です。

ラノベ100冊分も書く必要性はないし

いつでもできるし理不尽な生活に苦しむ会社員をしながらでも、全然できます。

もし、皆さんが本気なら
まず僕のメルマガに
登録してほしいです。

僕は本気になるのに
メンタル病んでから
やり始めてしまいました。

当然、非推奨です。
ペースも遅くなるし
成果も遅くなります。

だけど、今ブログを
読んでいる人なら
メルマガ登録で
最短ルートがわかります。

このブログの作り方
をはじめ有益な情報を
流すことを約束します。

もちろん、無料のメルマガ
なので自分の人生変えたい

と本気で思っている人は
とりあえず登録してみてください。

興味がなくても
解約は自由です。

解約後も送ってくるとか
そんなしつこいことしません。

現状をどうにかして変えたい
と思っている人、

新しいことに挑戦していきたい
と思っている人は

原動力になるはずです。
楽しみにしていて下さい。

長い文章、ここまで
読んで頂いて感謝です。

では、また[メルマガ](#)で
お会いしましょう

[メルマガ登録はこちら](#)